

## (2) 校内研修の具体例

### ① 5分コース「ワンポイント研修」(打合せ・職員会議など)

#### 理論編

	研修内容	ねらいと流れ	
道徳科の基本を押さえる	<b>理 論 編 1</b> <b>基礎的な理論 1</b> <教科化の背景・道徳科の目標>  理論 「教科化の背景」 「道徳科の目標」 p 5 ~ 7	ねらい 流れ	教科化の背景と道徳科の目標について、共通理解を図る。 ①これまでの道徳の授業を振り返り、教科化されて変わったことはどのようなことだと思うか、意見を交換する。 ②サポートブックで、「教科化の背景」と「道徳科の目標」を確認する。
明確な意図を持つ	<b>理 論 編 2</b> <b>基礎的な理論 2</b> <「考え方、議論する道徳」の捉え方>  理論 「『考え方、議論する道徳』の捉え方」 p 8	ねらい 流れ	「考え方、議論する道徳」の捉え方について、共通理解を図る。 ①「考え方、議論する道徳」の各自の捉え方をワークシートに書き、共有する。 ②サポートブックで、「『考え方、議論する道徳』の捉え方」を確認する。
	<b>理 論 編 3</b> <b>内容項目の理解</b>  授業づくりのポイント 「内容項目を理解するポイント」 p 6 2 内容項目集 p 1 0 ~ 1 1	ねらい 流れ	児童生徒の発達段階に応じて指導内容が異なることを押さえ、内容項目の理解を深める。 ①サポートブックで、「内容項目を理解するポイント」を確認する。 ②サポートブックの「内容項目集」で指導の要点について、確認する。
	<b>理 論 編 4</b> <b>教師の明確な意図</b>  授業づくりのポイント 「教師の明確な意図」 p 6 6	ねらい 流れ	「明確な意図」を持つために必要な3点（内容項目の理解、児童生徒の実態把握、教材の活用）についての理解を深める。 ①道徳の授業づくりで大切なことについて、意見交換をする。 ②サポートブックで、「教師の明確な意図」について、確認する。
	<b>理 論 編 5</b> <b>学習指導過程4つのポイント</b> (全体)  授業づくりのポイント 「学習指導過程4つのポイント」 p 6 1	ねらい 流れ	1時間の学習指導過程を構想する時に押さえておきたい4つのポイントを確認する。 ①普段の道徳の授業をどのような流れで構想しているか、意見交換をする。 ②サポートブックで、「学習指導過程4つのポイント」を確認する。

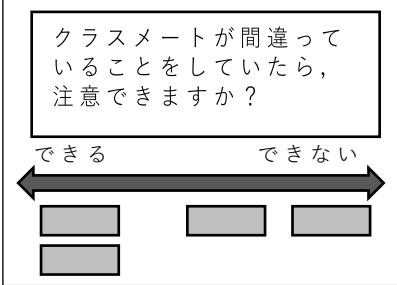
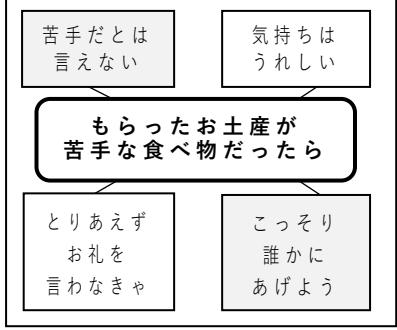
学習指導過程を構想する

学習指導過程を構想する	<b>学習指導過程 4つのポイント</b> 〈問題意識を持たせる〉  <u>授業づくりのポイント</u> 「導入の工夫」 p 6 8	ねらい	児童生徒が問題意識を持つための導入の工夫について、理解を深める。
		流れ	①普段の道徳の授業の導入場面でどのような学習活動をしているか、意見交換をする。 ②サポートブックで、「導入の工夫」について、確認する。
	<b>学習指導過程 4つのポイント</b> 〈多面的・多角的に考えさせる〉  <u>授業づくりのポイント</u> 「多面的・多角的に考えさせる学習」 p 7 3 ~ 7 4	ねらい	児童生徒が多面的・多角的に考えるための工夫について、理解を深める。
		流れ	①短めの教材を取り上げ、多面的・多角的に考えさせるために、どのような発問や学習活動ができるか、意見交換をする。 ②サポートブックで、「多面的・多角的に考えさせる学習」について、確認する。
	<b>学習指導過程 4つのポイント</b> 〈自分との関わりで考えさせる〉  <u>授業づくりのポイント</u> 「自分との関わりで考えさせる学習」 p 7 1	ねらい	児童生徒が自分との関わりで考えるための工夫について、理解を深める。
		流れ	①サポートブックで、「自分との関わりで考えさせる学習」について、確認する。 ②サポートブックの学習指導案集で発問や学習活動の例を確認する。
	<b>学習指導過程 4つのポイント</b> 〈自己(人間として)の生き方について考えさせる〉  <u>授業づくりのポイント</u> 「終末の工夫」 p 7 0	ねらい	児童生徒が自己(人間として)の生き方について考えるための終末の工夫について、理解を深める。
		流れ	①サポートブックで、「終末の工夫」について、確認する。 ②サポートブックの学習指導案集で発問や学習活動の例を確認する。
発問を工夫する	<b>発問づくり</b>  <u>授業づくりのポイント</u> 「発問づくり」 p 7 5 ~ 7 8	ねらい	授業のねらいに迫るための発問づくりについて、理解を深める。
		流れ	①普段の道徳の授業で、どのような発問をしているか、意見交換をする。 ②サポートブックでねらいに応じた発問の例を確認する。
評価の基本を押さえる	<b>評価の基本的な考え方</b>  <u>道德科の評価</u> 「評価の意義」「授業構想から評価までの流れ」「見取りりの方法」「見取りりの工夫」 p 8 5 ~ 8 9	ねらい	道徳科の評価についての基本的な考え方と見取りりの方法について、共通理解を図る。
		流れ	①道徳科の評価をどのように行ってきたか、どのように行けばよいと思うかを、意見交換する。 ②サポートブックで、道徳科の評価の基本的な考え方と評価を行う際に押さえておきたい大きな2つの視点を確認する。

## 演習編

思考ツールの使い方を知る
--------------

発問を工夫する
---------

	研修内容	ねらいと流れ	
演習編 1	<b>自己との関わりで考えさせる 展開例</b>  <p>クラスメートが間違っていることをしていたら、注意できますか？</p> <p>できる できない</p> <p> 授業づくりのポイント 「自分との関わりで考えさせる」 「板書の工夫」 p 71, p 78</p>	ねらい	心情スケールを活用し、自己との関わりで考えることについて体験する。
		流れ	<p>①サポートブックで要点を確認し、テーマを提示する。対立が生じる身近なテーマだとよい。</p> <p>②黒板か模造紙に心情スケールを書き、自分の考えに近い場所に名前を書く。</p> <p>③他の教師の考えとその理由を聞き、様々な考えを共有する。</p>
演習編 2	<b>多面的・多角的に考えさせる 展開例</b>  <p>苦手だとは言えない</p> <p>気持ちちはうれしい</p> <p>もらったお土産が苦手な食べ物だったら</p> <p>とりあえずお礼を言わなきゃ</p> <p>こっそり誰かにあげよう</p> <p> 授業づくりのポイント 「多面的・多角的に考えさせる」 「板書の工夫」 p 73～74, p 81</p>	ねらい	ウェビングマップを活用し、多面的・多角的に考えることについて体験する。
		流れ	<p>①サポートブックで要点を確認し、テーマを提示する。複数の感情や葛藤が生まれるような身近なテーマだとよい。</p> <p>②ワークシートに各自の考えを書く。時間があれば近くの人と意見交換をする。</p> <p>③進行役の教師（道徳教育推進教師等）が模造紙や黒板にウェビングマップを作成する。</p>
演習編 3	<b>ねらいに迫るための 発問を構想する</b> <p>考え方やすい教材の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;小学校&gt;           <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな絵はがき（小4）</li> <li>・手品師（小6）</li> </ul> </li> <li>&lt;中学校&gt;           <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀色のシャーフヘンツル（中1）</li> <li>・二通の手紙（中3）</li> </ul> </li> </ul> <p> 内容項目集 p 10～  授業づくりのポイント 「発問づくり」 p 75～76</p>	ねらい	実際の教材を活用し、ねらいに迫るための発問を構想する。
		流れ	<p>※事前に教材を読んだ上で研修を行う。短めの教材や、長年活用されている教材にすると進めやすい。中心場面をどこにするか考えておく。</p> <p>①「『指導の要点』と教材関連表」を参考に、授業のねらいを共通理解する。</p> <p>②中心場面を設定し、ねらいに迫るための発問を考える。</p> <p>③他の教師の考えを聞き、様々な考えを共有する。</p>

## 研修会の進め方

### (例) 5分コース「ワンポイント研修」

#### 理論編2 「基本的な理論2」

ね ら い	「考え方、議論する道徳」の捉え方について、共通理解を図る。		
準備物	参加教師：サポートブック、筆記用具 進行役の教師：サポートブック、ワークシート		
研修の流れ	時間	活動内容	進行手順
	30秒	ねらいの確認	「道徳科では『考え方、議論する道徳』の授業への転換が求められています。今日は、『考え方、議論する道徳』とはどのような授業なのか、みなさんが考えてみたいと思います。」
	4分	「考え方、議論する道徳」について考える	「『考え方、議論する道徳』とは、どういう授業だと思いますか。ワークシートに書いてみてください。」 (書く) 「書いたことを3～4人の小グループを作って共有してください。」 (話合い) 「学年で話してみて、『やっぱりそうだよね』や『そんな考え方もあったのか』と思った考えはありましたか。今、先生方が行ったことが、道徳科で言う『議論する』ということの第一歩だと思います。」 ・サポートブックの「考え方、議論する道徳とは」を基に説明する。
	30秒	まとめ	「これから道徳の授業を行う際に、今日みなさんが考えて確認した『考え方、議論する』ことを意識して進めていきましょう。」

#### ワークシート例

5分コース「ワンポイント研修」

考え方、議論する道徳とは？

考え方とは？

議論するとは？

このような研修を継続することで、日常的に道徳について話し合える雰囲気ができ、学校全体の授業力を向上させることにつながります。

